

令和6年度 シラバス

教科	情報	科目	情報 I	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	図説情報 I (実教出版)					
学習の到達目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度			
	情報モラルや情報に対する自己の責任、情報と情報技術及びこれらを活用して適切に問題を発見し、解決するために必要な知識と技能を身に付けている。	情報に関する科学的な見方考え方を働かせて問題を発見し、知識や技能を活用して、解決策を考え、判断し、表現できる。	情報モラルや情報に対する自己の責任を実際に果たしている。また、情報に関する知識や技能を得ることや、情報を活用した問題解決を主体的に行っている。			
評価の方法	学習プリントや実習などの成果物、レポートや話し合い活動の内容、定期考査の結果などにより評価します。					
	単元		主な学習内容			
前期	序章 情報社会と私たち 1章 情報社会と問題解決 ・問題解決 ・情報セキュリティと個人対策 2章 コミュニケーション情報デザイン ・情報デザインと表現の工夫 3章 情報とコンピュータ ・コンピュータのデジタル表現 4章 アルゴリズムとプログラミング ・アルゴリズムと基本構造		・匿名性の特徴、ネットワーク上のルールとマナー、情報の受信者・発信者としてのモラルと責任 ・問題解決の意味を理解し、問題解決の流れ ・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連する権利 ・身のまわりにある、文字や音声、図やイラストによる情報で使われている工夫 ・アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴 ・アルゴリズムの基本構造			
後期	4章 アルゴリズムとプログラミング ・プログラミング 5章 モデル化とデータの活用 ・モデル化 ・データの活用 6章 ネットワークと情報システム ・ネットワークの仕組み ・情報システムとサービス		・プログラミング実習 ・図的モデルの表現方法、モデル化 ・データの活用の手順や方法 ・インターネットに接続するための機器と通信の規則 ・情報システムの仕組みとデータの流れ			